大船渡市消防団だより

〈第３号〉

平成17年1月5日

大船渡小学校２年生　きくちゆりや

義勇にあぐらをかく事のない様　顕著に自らを律する姿勢を持って

発行：大船渡市消防団　　大船渡市盛町字木町１－１　TEL 0192-27-2119

消防団長あいさつ

大船渡市消防団長
鎌田和昭

今年も師走の季節となりましたが、この一年、市民のみなさんには何かと御協力いただき、心から感謝申し上げます。

今年は大船渡市消防団にとって大きな節目の年でありました。

昭和二十七年四月の市制施行と同時に消防団も発足し、その後、分団制の組織替えを行い、そして平成十三年十一月の大船渡市と三陸町の合併により、新しい消防団として生まれ変わり、大船渡市消防団設立五十周年を迎えました。

消防団の歴史は、団員としてご活躍された大先輩の方々のゆるぎない消防精神と市民の皆さんの励ましや後押しが築き上げてこられたものであり、消防団設立五十周年の節目に当たって、改めて深く敬意と感謝を申し上げます。

さて、今年も自然災害が猛威を振るい、これまでにない数の台風が各地に大きな被害をもたらしました。

また、十月二十三日に発生した新潟県中越地震では、復興にはほど遠い中でこの冬を迎えようとしています。

「人の一生に最も大切なるものは安心なり。百才の寿命も一日の安心には代え難し」と言うことばを耳にしたことがありますが、いつの時代にあっても人間が生きていくためには常に危険と背中合わせであることは、どなたも実感していることです。

私達消防団員は、脈々と受け継がれてきた消防精神をもって、『安心と安全』に結びつく地域づくりを目指し、市民のみなさんとの連携を保ちながら消防団活動を進めて参りたいとおもっています。

終りに、これから寒さも本格的になりますので、ご健康にはくれぐれもご留意されますと共に、火気を取り扱いする機会が多くなりますので、「火の用心」に心がけて新しい年をお迎えできますことをお祈りいたします。

大船渡市消防団設立50周年　被表彰者

【感謝状】
大船渡商工会議所
大船渡市農業協同組合
末崎漁業協同組合
大船渡漁業協同組合
赤崎漁業協同組合
綾里漁業協同組合
越喜来漁業協同組合
吉浜漁業協同組合

【表彰状】
金野辨治
古水吉五郎
村上春男
東　祐一
千葉昭二
中村　中
熊谷惠次
及川和也
菅生文夫
塩口一郎
木村洋太郎
熊谷　章

【感謝状】
西村　信
小野寺秀雄
鈴木博司
佐々木勝郎
橋爪幸平
崎山文比古
東　善一
及川秀平
川原良司
大船渡市婦人防火クラブ協議会
盛町消防後援会
第二分団消防後援会
第三分団消防後援会
第四分団連合消防後援会
第五分団消防後援会
第六分団消防後援会
猪川町消防後援会
立根町消防後援会
第九分団消防後援会
綾里地区消防後援会
越喜来地区消防後援会
吉浜地区消防後援会
末崎小学校少年消防クラブ
盛保育園幼年消防クラブ
大船渡第一幼稚園幼年消防クラブ
海の星幼稚園幼年消防クラブ
甫嶺へき地保育所幼年消防クラブ

【功労章】
大船渡市消防団第一分団第一部
大船渡市消防団第五分団第一部
大船渡市消防団第五分団第二部
大船渡市消防団第五分団第三部
大船渡市消防団第六分団第二部

【功績章】
大船渡市消防団第一分団
大船渡市消防団第二分団
大船渡市消防団第四分団
大船渡市消防団第五分団
大船渡市消防団第六分団
大船渡市消防団第十分団
大船渡市消防団第十一分団

消防団員・消防職員であった方々が叙勲及び、市政功労者として受章なされました。おめでとうございます。

【叙勲受章】
佐藤定平　勲四等端宝章　地方自治功労
泉八百二　勲五等端宝章　社会福祉功労
志田賢太郎　旭日双光章　地方自治功労
菅生文夫　端宝双光章　消防功労
菅生正人　旭日単光章　林業功労
菊地將郎　端宝単光章　消防功労

【大船渡市市政功労者】
治安功労者　鎌田昭一　元第五分団長
治安功労者　菅生和昭　元第八分団長

消防団
ニューフェイス

第1分団第1部
金野康平

生年月日　昭和58年11月10日
勤務先　協和石油
家族構成　祖父、父、母、弟、妹
特技　サッカー、七夕製作
趣味　スケボー、人間観察
好きな女性のタイプ
フツーにかわいい娘…でいいかな
入団したきっかけ
ほぼ強制的に志願書を書かされた（笑）（＝自然に手が動き、気が付けば志願書を提出していた）
消防団に対しての希望
来年からは操法の選手として活躍したいのでご指導の程よろしくお願いします!!
先輩から一言
義勇愛郷の精神でもって、消防道を邁進してください

消防団
ニューフェイス

第3分団2部
佐藤大基

生年月日　昭和52年4月29日
勤務先　大船渡市役所
家族構成　祖父・祖母・父・母・姉
特技　クラシックギター
趣味　クラシックギター・版画・車・バイク
好きな女性のタイプ
落ちついた人
入団したきっかけ
地域密着型ゆえ
消防団に対しての希望
冬なのでコートが欲しいです
先輩から一言
目指せ地域No.1好青年！

操法競技会について

私達消防団員にとって、六月は操法の月、およそ1ヶ月の訓練を通して機械器具の操作の習熟と共に、団員相互の絆を深める意味で、消防団活動最大の行事といっても過言ではない。

今回は、各分団の精鋭部長・班長に、反省や豊富を語ってもらいました。

「来年の美酒をめざして！」

第一分団第一部
部長　千葉　洋一

今年の操法競技会では、幸運にも十一年ぶりに気仙地区大会に進み、二十三年ぶりの県大会出場をめざしましたが、あと一歩力及ばず、来年以降の目標となりました。

約五十日間にわたる訓練期間中昨年のように「ワールドカップを屯所で観よう！」との別目標はなかったものの、団員の参加は極めて好調でなぜか会計担当が苦心しておりました。

基本的に「毎年メンバーチェンジ」の当部ですが、「勝つ」ための秘策について、冬の修業（夜警＆スノーバスターズ）でじっくりと練り直しましょう。

「指導者になって」

第二分団第一部
班長　鈴木　康文

「火点は前方の標的、水利はポンプ車右側後方防火水槽…。」このセリフを聞くようになり、早や十四年、入団当時のホース巻き時代が懐かしく感じるようになりました。

私は、二十六歳で入団し、これまで操作員としてはポンプ車操法の四番員の経験しかありませんが、年齢的に今年度指揮者としての順番がやって来ました。

指揮者を経験して感じたことですが、四番員当時の練習と違い孤独な練習であったように感じましたが、そう感じたのは私だけでしょうか。

私の場合は入団以来毎年反省して十四年、練習後の深酒に尽きると思います。

人と人とのつながりが希薄になったといわれる今日この頃、団員相互のコミュニケーションの場として練習後のお酒は、ある程度必要と思われるので、私みたいに飲みすぎには注意しましょう。

来年度の目標についてですが、今年度よりも確実な動作に注意すること。

そして今年度の反省を忘れずに、常に前向きに考えて訓練の指揮・指導をし、操法競技会に望みたいと思います。

それでは皆さん、来年度もまた貯木場で会いましょう。

「今年の操法競技会そして来年」

第三分団第一部
班長　井上　淳

十六年度の操法競技会は、約一ヶ月の練習予定でしたが仕事の関係等で団員の集まりも多い日や、少ない日があり、実質三週間位の少ない練習期間でしたが、皆で協力し、充実した練習が出来、支部大会にも出場し、好成績を収める事が出来、満足のいく結果でした。

来年度も部長を中心として、全団員で目標を持ち頑張りたいと思います。

「操法と仲間」

第四分団第六部
部長　大和田　浩志

私が操法練習に取り組む上で最も大事にしていることは「仲間意識」を持つということです。

本来、競技会というからには勝敗が関わってくるのは当然なのですが、確かに成績は大切ではあるけれども、それよりも練習を通して仲間意識を持って団結力を高めていくことを何よりも一番に考えて取り組んで来た、というのが正直な所であります。その上で昨年、今年と二連覇するという素晴らしい結果につながったということを大変嬉しく思います。

これからも雰囲気づくりを大切とし、団員みんなの心がひとつになって操法はじめ日頃の消防団活動に頑張っていきたいと思っております。

「常勝復活を目指して」

第五分団第一部
班長　磯谷　淳

多くの消防団員、来場者の熱い視線の集まる中、「集まれ！」の第一声で五一一の気迫を示し、ホース延長の正確さ、走る速さ、全ての動作で気仙地区実力ナンバーワンの磯谷寛治一番員、何が何でも勝ちたいと思う闘志を内に秘めヤーボ直伝の「規律」と「切り回し」の素晴らしさを身に付けた磯谷拓実二番員、何事にも動じない図太い神経の持ち主にして筋肉質の体重一〇〇kgと安定感抜群の小沢浩喜三番員とともに全力を出し切り完璧に操法を行いましたが指揮者の力及ばず二位に終わりました。

五分団幹部並びに一部消防OBの方々からの物心両面の激励と長崎、外口地域の皆様のご協力を得ながらにして、結果は残念なものになりましたが選手に怪我もなく、部長以下新入団員の袖野雄君まで一致協力して操法期間を乗り切り、五分団一部の操法を行ったことは選手全員の今後の消防団活動において非常に価値のある経験だったと思います。

操法競技の結果は選手が力を出し切れる様に団員全員で作り上げる地道な組織活動の上に勝利の女神が微笑むものだと改めて思いました。

来年度の目標は、もちろん真っ向勝負の断突優勝です。

今年の負けは五分団一部の新たなスタートになることは間違いありません。

共に頂点を目指す二十八チームとまた、熱い戦いを繰り広げたいと思います。

「来年の優勝を目指して」

第六分団第三部
班長　大畑　力

今年三人の新人が入団し部全体が盛り上がり自分が新人の頃の活気ある部に一歩近付いたかのようで、今年こそは優勝を狙えるという雰囲気が部全体に感じられた。

結果は残念ながら五位に終わったが、選手はいつもと違う満足感が得られたように感じられる。

後輩達に優勝を味わわせてやる為には選手だけではなく、それをサポートする団員達の協力が必要不可欠であると感じ、今後いかに強力なサポート体制を整えるかが重要であると思う。

「今後の目標」

第七分団第三部
部長　吉田清喜

当部では、団員に操法を通じて消防技術の熟達と団員間の融和を図り、有事の際に的確に対応できることを目標としている。

その意味でなるべく若い団員及び元選手に前と違う番員として選手に起用しているので、今年もその成果は達成されたと思う。

来年度の目標としては、先に述べたことを基本に、当分団の他部の練習方法も参考にしながら、より操法技術のレベルアップを図れば、競技会での成績アップに繋がると思う。

「操法に関して」

第八分団第一部
部長　山本幸雄

第八分団と言えば下位の常連として市内でも有名ですが、本年度の八一一はお陰様をもちまして、小型ポンプの部で第七位と、過去最高の成績を収める事が出来ました。

これもひとえに班長、団員と関係各位の皆様のご指導、ご協力の賜物と感謝している次第です。

本年度の団員の練習参加率は連日五割以上と、例年に比べかなり高率だったと思います。

今後、成績を含めこの状況を維持するために、より一層団員の参加を呼びかける努力を心懸ける所存です。

最後に競技会開催についてですが、毎年開催する必要性があるのでしょうか。

地区大会がない年は団員の負担軽減の為にも開催を見合わせてもいいと思うのですが。

消防団を支えているのは団、分団幹部ではなく若い団員達なのですから。御考慮の程をよろしく御願いします。

「来年の操法競技会をめざして」

第九分団第四部
部長　杉山敏郎

今年度の操法競技会において、成績では残念ながら目標とするところには、遠く及びませんでした。

選手個々の技量は決して、他に引けをとるものではありませんでしたが、大会出場経験一年目の選手を含んだチーム構

成ではメンタルな部分で弱点が見えたように感じます。
おおよそ一ヶ月間の練習の中で、選手自身がその練習方法を工夫し、思慮してくれるので、操作技術の面での不安は少ないのですが、精神面となるとなかなか難しいものがあります。
今後の指導では、そういう面にも力を注いで、次回には過去の成績を上回る結果を残せるよう、団員一丸となって取り組みます。

「操法競技会に参加して」

第十分団第三部
班長　千葉恭平

火点は前方の標的、水利は……日本国民の消防団なら耳にする全国共通の用語です。
入団間もない時期には、見る行動、やる行動、言われる事すべてに抵抗があり団にとけ込めず悩んでいた時期を乗り越え、気がつけば選手になりたての頃にビデオで他の強い分団を見ていた時に映っていたあの場所に自分が立とうとしていた。
操作員での経験はあったが、指揮者はまた別の難しさがあった。
操作員に対する影響もあり、責任というプレッシャーを背負いながら練習に励みました。
大船渡市との合併で部の統合もあり、今までとは勝手が違ったり、方向性を決めるのが大変でした。
自分一人が練習すれば良いものではなく、選手一人ひとりが、部全員が同じ方向を目指さなければ結果がついてこないと思い、何度と話し合い団結しました。
仕事で選手が集まらず、どうしようもない不安を抱えながらも、出来るだけの練習を積んで大会にのぞみました。
結果は、それぞれの気持ちの内で納得していると思います。
欲を言えばきりがないので、大事なのは、目標に対する姿勢、情熱だと思います。
一人はみんなのために、みんなは一人のために、これからも支え合いながら協力していきたいです。

「優勝目指して」

第十一分団第四部
班長　石川利宏

今年は五月から練習を開始しました。私の部では操法期間は練習方法や休みの日などあらゆることを指揮者の権限で出来るというシステムになっていて、選手四人で決めた事は目標だけでした。
今年の目標は、支部大会出場でそれに向けて練習方法などを考えました。
一日のメニュー、ランニング三キロメートル、集まれ百回、流し五回全部集中してやることにしました。
練習が終わると屯所で前年度の操法のビデオを摩り切れる程自分達にたりないものを見つけようと皆、必死でした。
練習してもうまくいかない操作などは、皆に迷惑がかかるので、一人早出し、皆が来るまでに直しておくようになっていきました。
元々自分達がやろうとする操法は十回やって八回はミスなしで出来ないと本番には無理といった操法で、審査員の点数のつけ方が悪いとかで無くて、誰が見ても納得のいく操法をしたくて一致団結しやりました。
結果、大船渡市消防団五十周年記念の年に優勝させて頂く事が出来ました。
分団長をはじめ各団員、家族、様々な人達のおかげだと思います。
なによりも各委員のやる気に勝るものはないと思います。
私は指揮者として各番員を誉めた事はありませんがこの場をかりてご苦労様と言いたいです。
今後の課題としては、また一から練習を重ね、常に上を目指し、一つひとつ目標をクリアしていきたいと思っています。
最後になりましたが勝ちたいと思う強い気持ちが結果に出たと思います。
また明日から「勝って驕らず負けて腐らず」の気持ちを忘れずに頑張りたいと思います。

「操法競技会に参加して」

第十二分団第一部
班長　外川利博

「これで何回目だろう」「指揮者をやればもう終わり」そう思って参加した競技会。やっぱり緊張し、やっぱり順位は想像した通り。
でも、ほっとしたことだけはたしかである。
初めて参加した頃は学校のグランドでホースの収納まであったため、一番員をやったときなどは、筒先を担いだままホースを丸めるのが大変だった。
また水揚げ操法で機関員をやったときは、「もし水が出なかったら。」そんな心配をしながら参加したことを思い出す。
勝者がいれば敗者もいる。
点数を付ければ順位が出る。
私の部は順位にはこだわらない。
今までもそうであり、これからもそうであると思う。
しかし、自分たちの地域は自分たちで守るという郷土愛護の精神は他の分団と同じである。
今までもそうであり、これから先もそうである様に。

大船渡市消防団第１分団　火災・災害情報配信について

第１分団では、火災．災害情報をメールで、皆様方に配信しております。市外に居るときや、防災無線の聞こえ難い所に居る時など、消防関係者はもちろん市民の方々も情報入手の手段として使っていただけると思います。配信は第１分団担当者が消防署の情報を元に火災・災害発生時に発生場所・時間等をメルマガサイトを通して配信いたします。ただし、火災・災害発生時には消防活動を優先するため、遅配や未送信の場合もあるかと思いますので御理解いただきたいと思います。尚、利用料金等は一切かかりません。

登録は、大船渡市消防団第１分団ホームページ
URL　http://ip.tosp.co.jp/i.asp?i=ofunato1　からお願いいたします。
携帯　docomo ｉモードの場合　通常画面から imode → internet → URL 入力→
http://ip.tosp.co.jp/i.asp?i=ofunato1
au　ezweb の場合　通常画面から ezweb →ダイレクト入力→
http://ip.tosp.co.jp/i.asp?i=ofunato1
ボーダフォンの場合　通常画面から J-sky →ダイレクト入力→
http://ip.tosp.co.jp/i.asp?i=ofunato1
OK で第１分団のホームページが表示されます。火災情報のご案内を読んでいただき、
火災情報登録→メルマガ登録画面→登録→送信　約５分後登録完了メールが届きます。
ドメイン指定受信設定をしている方は最初に mini.mag2.com を受信できるよう追加してください。
また、３ヶ月に一回程度メンテナンスの為、試験配信します。旧サイトに登録されていた方も再登録をお願いいたします。

▶問い合せ先＝第１分団第１部　嶋村裕司 090-2361 － 8184　　大和田秀明 090-2591 － 9902

消防団ニューフェイス

第５分団２部
新　沼　圭史郎

生年月日　昭和 56 年 10 月 11 日
勤 務 先　大船渡市役所
家族構成　祖父・祖母・父・母・姉
特　　技　スポーツ全般
趣　　味　旅行
好きな女性のタイプ
大和撫子
入団したきっかけ
団員の方からの誘い
消防団に対しての希望
市民に信頼のある消防団であってほしい
先輩から一言
まっていたぞ！ケイシロウ

消防団ニューフェイス

第６分団２部
只　野　吉　哉

生年月日　昭和 54 年２月 17 日
勤 務 先　㈲只野瓦工業所
家族構成　父・母・自分の３人家族
特　　技　楽しく会話すること
趣　　味　のどかな所を観光。映画館で泣く。
好きな女性のタイプ
背が低くて、芯のある人
入団したきっかけ
地域交流と何か役に立ちたいと思い入団しました
消防団に対しての希望
これから育ってくる子どもや青年と触れあう機会をもっと増やし未来の力としてほしい
先輩から一言
大船渡市消防団の１員として誇りを持ち、自分の為、そして地域の為に活躍する事を望みます。今後のあなたの活動に期待します。

消防団ニューフェイス

第８分団２部
新　沼　勝　利

生年月日　昭和 54 年９月 10 日
勤 務 先　東海精密工業㈱
家族構成　父・母・弟１人の４人家族
特　　技　しばらく考えたが、見つからない
趣　　味　格闘技
好きな女性のタイプ
大塚　愛
入団したきっかけ
同じ地域の人の誘い
消防団に対しての希望
現状に満足
先輩から一言
共に頑張ろう！

雑感

消防団顧問　千葉昭二

火災の現場に後からきたポンプの筒先から水が先に出た話

火災のサイレンが鳴った。ポンプ車に乗って火災現場に到着した一番員が筒先とホース一本を担いで火点に向かって走った。車一台やっと通れる程の道幅だった。少し後から来たポンプ車も同じ様に並んでホース延長していた。

少し待っても自分たちのポンプからは水がこないのである。筒先を持っていた一番員が再度伝令を機関員に走らせた。その伝令が息を切り乍ら戻ってきたが、まだ水がこない。隣の筒先からは勢いよく水が火炎に注がれている。

：間もなく火勢は衰え、やがて鎮火した。

機関員はわが方は順調に水が出ていると思っていたのに筒先からは水はまだかと催促の伝令が来たのは一体そこで何が起きたのか。

鎮火して撤収作業中にわかった。隣の二本目のホースを伸ばしていった団員が一番員が置いておいたホースのメス金具があったのでそれに繋いで放水はじめを機関員に伝えた。実はそのメス金具が隣のポンプの一番員が置いたホースだったのである。

以後我々は実際の火災ではポンプ車のほうから順次ホース延長をしたものだった。暗い現場での話です。臨機応変にやりましょう。

功労章
平成17年出初式において、平成16年度岩手県消防操法競技会に出場した、第4分団第2部（自動車ポンプの部）の選手に授与される記章

功績章
平成17年出初式において、平成16年度気仙地区支部消防操法競技会に出場した、第11分団第4部（小型ポンプの部）、第1分団第1部（小型ポンプの部）、第3分団第1部（自動車ポンプの部）、第4分団第6部（自動車ポンプの部）、第5分団第1部（小型ポンプの部）、第5分団第3部（小型ポンプの部）の選手に授与される記章

平成17年出初式において、永年に亘り纏組員として活躍した団員に贈られる盾

月別行事

十二月	
一月	楽しみな夜警開始
二月	寒くていやな出初め式
三月	気楽な火防点検
四月	部長にはなりたくないと思う辞令交付式
五月	朝が早くていやな春季演習
六月	今年もやるぞ！操法
七月	めざすは気仙No.1操法
八月	支部大会
九月	火の用心のお盆特別警戒
十月	春より楽な秋季演習
十一月	地域密着火防点検

出初式案内

寒くていやな出初式が今年も一月九日に行われます。

六十台の一斉放水はみごとですが、やるほうは大変。ずぶ濡れになりながら、しかも食紅の色で顔をそめながら…。でも一月九日にむけて、ラッパ隊、まとい隊は毎晩練習をしています。ふといキズナにささえられて、やつらの晴れ姿を是非見に来て下さい。

火災以外の出動状況

風水害	3回	744人
捜索活動	7回	984人
予防査察	1回	828人
予防広報	随時	153人
合　計		2,709人

火災発生状況

種　別	件　数
建物火災	9
林野火災	4
車両火災	0
その他	1
合　計	14件
損害額	74,623千円

平成16年12月28日現在

PRINTED WITH SOY INK　R100　「大船渡市消防団だより」は環境にやさしい古紙配合率100％の再生紙と大豆油インキを使用しています。